

# 医学概論Ⅱ 〈P3, C2, C3〉

「循環生理を体験する～シミュレーターによる生理学演習」

## 教員名

教育研究開発センター 教授 村田 顕也

## I 一般学習目標

シミュレーターを用いて循環生理を体験から学ぶとともに、論理的な背景を理解する。

## II 個別学習目標

シミュレーターを用いた演習から以下を理解できる。

1. 心音の発生と構造
2. 呼吸音の発生と病態
3. 心拍数、心拍出量と体液量の関係
4. 血圧と心拍出量、末梢血管抵抗の関係
5. 血圧と大動脈弁・大動脈硬化の関係
6. 心拍数と心拍出量への自律神経の関与
7. 血圧への自律神経の関与
8. 心機能と心筋代謝
9. 各種病態における循環動態の変化

## III 教育内容

1. 心音シミュレーターによる心音の成り立ち
2. 呼吸音シミュレーターによる呼吸音の成り立ち
3. 救急シミュレーターを用いた、循環動態と心・血管要素
4. 交感神経作動薬による心機能・血圧調節

## IV 学習および教育方法

講義および演習による。

## V 評価の方法

毎回、演習結果および考察に関するレポートあるいは小テスト、医学概論Ⅱ終了時の最終レポートにて評価する。

1回のレポートあるいは小テストは10点満点とし、合計点を70点換算する。最終レポートは30点換算とし、両方の合計（100点満点）で60点以上を合格とする。欠席や最終レポートの期限内未提出は0点とする。遅刻は減点対象とする。

## VI 参考図書

「標準生理学 第8版」 医学書院

Braunward, Zipes、Libby 編 : Heart Disease 9<sup>th</sup> Ed.